

「蒲生秀行の生涯と宇都宮・若松」に関する本



- 『東北の中世史 5』 (高橋充／編 吉川弘文館 2016年)【212/ト/5】
全5巻からなるシリーズの最終巻。副題は「東北近世の胎動」。本日の講師、高橋充先生は序章「転換する東北」と第一章「奥羽仕置」をご執筆されています。
- 『会津若松城』 (学習研究社／編集・発行 1997年)【521.8/ガ】
黒川城と若松城に関する論文集。高橋充先生による「葦名氏と黒川城」, 「葦名盛氏と向羽黒山城」, 「伊達政宗の黒川入城」, 「秀吉の奥羽仕置」を所収 (p34-44)。
- 『改定 史籍集覧 第十四冊』(近藤瓶城／編 臨川書店 1984年)【201.08/シ/14】
蒲生秀行について知るための一次資料, 「氏郷記」および「蒲生氏郷記」を所収 (p622-754)。
『改定 史跡集覧 総目解題及書目索引』p42によると, 「氏郷記」は著者不詳, 「蒲生氏郷記」は満田出雲守の著であるという。成立年代不明。●館内閲覧のみ
- 『天地人 2019年5月号』(宇都宮商工会議所／編集・発行 2019年)【K670/ウ】
特集「蒲生秀行と宇都宮城」(江田郁夫・飯塚真史／著)。秀行の宇都宮城城主就任から会津に戻るまでの間の活動と, 秀行時代以降の宇都宮城下の整備について記述。
- 『天地人 2011年9月号』(宇都宮商工会議所／編集・発行 2011年)【K70/ウ/11】
特集「蒲生秀行・第一次奥平氏と近世城下町の始まり」(埴静夫／著)。宇都宮の近世城下町としての基礎作りは, 蒲生秀行によって始められた, と著者は述べる。●館内閲覧のみ
- 『宇都宮市史 6』 (宇都宮市／編集・発行 1982年)【K210/ウ/6】
第1章第1節「藩の成立と初期城主」に蒲生秀行の記述あり (p5-10)。秀行の治政は, 宇都宮における中世から近世への具体的変革を促したものとして評価されている。
- 『小山評定武将列伝』 (小山市／編集・発行 2011年)【K280/オ】
p143-148に蒲生秀行の解説あり(間島勲／著)。近江国(滋賀県)での出生から会津で没するまでの生涯が簡潔にまとめられている。
- 『小山評定の群像』(産経新聞社宇都宮支局／編 随想舎 2016年)【210.4/サ/16】
p144-145に蒲生秀行の解説あり。蒲生君平との関係についても触れられている。
- 『うつのみやの地名と歴史散歩』 (埴静夫／著 下野新聞社 2015年)【K210/ハ】
第4章第1節「宇都宮城と城下町の形成」に蒲生秀行に関する記述あり (p19)。また, 日野町についての解説にも, 形成に大きく寄与したとして, 秀行の名前が登場する (p41)。

『日野町の歴史』 (徳田浩淳／著 篠崎材木店 1981年)【 K211/ト/A 】
日野町(現二荒町)の町史。日野町の成立は、蒲生秀行が宇都宮城主時代、廃寺となった東勝寺境内に近江国日野町出身の商人たちを住ませたことによる。

『蒲生氏郷』 (池内昭一／著 新人物往来社 1986年)【 289.1/ガモウ 】
蒲生秀行の父・蒲生氏郷に関する研究書だが、第4部「秀行以後の蒲生家」には秀行についての記述がみられる。

『蒲生氏郷』 (高橋富雄／著 歴史春秋社 1976年)【 K289/ガモウ.ウ 】
シリーズ「福島人物の歴史」の第2巻。蒲生秀行については最後部に少し記述あり。

『蒲生氏郷／武田信玄／今川義元』(幸田露伴／著 講談社 2016年)【 F/コウダ.ロ/16 】
文豪・幸田露伴が「夜涼の縁側に団扇を揮って放談するという格で語ろう」(p9)というスタンスで展開する、蒲生氏郷についての評伝。1925年発表。

『蒲生氏郷』 (今村義孝／著 吉川弘文館 2015年)【 289.1/ガモウ.ウ/15 】
蒲生秀行についての記述はほとんどないが、蒲生家の系譜について詳しく記されている。

『蒲生氏郷 上下』 (童門冬二 学陽書房 2008年)【 F/ドウモ.フ/1-08 】
蒲生氏郷と近江商人西野仁右衛門を題材とした長編小説。

『日本の歴史 16』 (北島正元／著 小学館 1975年)【 210.08/ニ/16-75 】
日本史の基礎文献となる参考書。蒲生秀行の生涯にも大きな影響を与えた関ヶ原の戦いについての解説を含む、江戸幕府成立前後についての巻。

『謎とき東北の関ヶ原』 (渡邊大門／著 光文社 2014年)【 210.4/ワ/14 】
上杉景勝と伊達政宗の2人を軸に、東北の視点から関ヶ原の戦いについて論じた著作。

『日本城郭史』 (齋藤慎一・向井一雄／著 吉川弘文館 2016年)【 521.8/サ/16 】
弥生時代から江戸時代までの「日本の城」の通史。会津若松城については、豊臣秀吉が築いた聚楽第(じゅらくてい)との構造の類似が指摘されている(p395)。

『近世栃木の城と陣屋』 (杉浦昭博／著 随想舎 2011年)【 K520/ス 】
宇都宮城をはじめ、栃木県内にある城や陣屋を写真・イラスト・地図等で紹介。

『会津若松史跡めぐり』 (歴史春秋社／編集・発行 1993年)【 291.2/レ/93 】
北は会津駅、南は鶴ヶ城(若松城)まで、会津若松エリアにある旧跡を紹介。

館内閲覧のみの資料も含まれています。
この他にも資料がありますので、図書館職員にお気軽にご相談ください。

宇都宮市立中央図書館
〒320-0845 宇都宮市明保野町7番57号
TEL: 028-636-0231 FAX: 028-639-0740
9:30~19:00(金曜休館)